

開催の目的

全体構想の検討段階にて、対象者の異なるワークショップを複数回実施し、朝霞市のまちづくりの方向性や将来像の検討に反映するとともに、都市マスへの関心を高めることを目的に実施しました。

開催の概要

市民や朝霞市で働く方を対象とした「暮らしサロン」、市内高校通学者を対象とした「高校生サロン」、駅周辺のまちづくりに関心がある方を対象とした「駅周辺サロン」を実施しました。

サロンの種類	暮らしサロン	高校生サロン 朝霞高校編	高校生サロン 朝霞西高校編	駅周辺サロン 北朝霞・朝霞台駅周辺	駅周辺サロン 朝霞駅周辺
日時・会場	6月22日(土) 10:00~12:00 市役所会議室	7月4日(木) 13:30~15:30 朝霞高校	7月17日(木) 13:30~15:30 市役所会議室	7月11日(木) 18:00~20:00 産業文化センター	7月18日(木) 18:00~20:00 市役所会議室
参加人数	18人(4グループ)	12人(2グループ)	30人(6グループ)	18人(3グループ)	12人(3グループ)
テーマ	将来も朝霞に住み、通い、働く	未来の私とまちの姿		将来の駅周辺がこうなったらいいな	
対象者	市民や市内で働く方々	市内の高校に通く高校生		駅周辺の関係者や駅周辺のまちづくりに興味のある方々	

成果と全体構想への反映

各ワークショップで得られた主な成果と、成果のなかから全体構想に反映するポイントを整理しました。

	議論の方法	主な成果	全体構想への反映ポイント
暮らしサロン	<p>方法：ロールプレイ</p> <p>目的：現在の自分でない立場から、まちの将来像を議論する</p> <p>概要：自分とは異なる年齢や立場のキャラクターを設定し、そのキャラになったつもりで意見を述べ、朝霞市の20年後が「こうなっていたらいいな」という姿と、その姿を実現するための取組アイデアをグループごとに出し合いました。</p>	<p>【20年後の「こうなっていたらいいな」を実現する取組みアイデア】 ※抜粋整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多様な暮らしと世代のミックス」：多様な世代が暮らしやすく、様々な世代が交流（ミックス）ができる場所と機会を設ける など ・「身の丈に応じた商業・経済」：周辺の都市と競合しない商業の育成や、市のなかで創業してもらうための支援 など ・「緑を朝霞市の魅力として活用」：市内の緑を守るだけでなく、朝霞市の魅力であり参加や交流ができる場所としてもっと活用する など ・「挑戦ができる環境」：空き家や未利用地を暫定活用するなどして、ビジネスややりたいことにチャレンジできる場所を用意する など 	<p>市民の皆さんが求める将来の朝霞市を実現するには、土地利用・道路交通・市街地整備といった従来型（縦割り型）の分野別方針では限界があることがわかりました。そのため全体構想を「テーマ型の構成」とすることで、市民の皆さんが求める取組により柔軟に対応できる都市マスの構成とします。</p> <p>※テーマの内容は、ワークショップのほかアンケートや課題整理を通じて設定します。</p>
高校生サロン (朝霞高校、朝霞西高校)	<p>方法：フォアキャスト&バックキャスト</p> <p>目的：高校生が大人になったときの自分とまちの姿を、現在からの予測と現在にとらわれない理想の両面から考える</p> <p>概要：高校生の皆さんが大人になったときの姿を、現在を起点として未来を予測する方法(フォアキャスト)とありたい未来を描き、そこから逆算する方法(バックキャスト)でそれぞれ描いて比較したり、将来の共通項を見つけて、まちのキーワードを抽出しました。</p>	<p>【理想のまちのキーワード】 ※抜粋整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分・家族」：自分らしくいられる、家族を大切にする ・「ゆとり、時間」：好きなことをする時間がある、ゆとりのある生活 ・「やさしさ」：人にやさしい、自分にもやさしい、自然にやさしい ・「豊かさ」「QOL」：量より質的な豊かさ、生活の質を高める ・「つながり・人間関係」：好きなことや伝統を通して人や地域とつながる ・「ロマンチック」：出会いがある、花壇やきれいな公園や素敵なカフェがある 	<p>高校生が大人になったときの理想のまちを考え、複数人に共通するキーワードを挙げていった結果、左に記載するようなキーワード(自分、時間、生活の質、つながりなど)を重視していることがわかりました。これらのキーワードを「朝霞市の将来像」を設定する際の参考とします。</p> <p>※将来像は、総合計画側の検討と整合を図りながら設定します。</p>
駅周辺サロン (北朝霞・朝霞台駅周辺、朝霞駅周辺)	<p>方法：ロジックブリッジ(※)</p> <p>目的：駅周辺に求められる取組のアイデアを、議論を楽しみながら出し合う</p> <p>概要：周辺における「課題」と「将来の姿」を別々に挙げたあと、両者を結び付ける「取組」を見つけることでロジックのつながりを完成させるゲーム(ロジックブリッジ)によって、駅周辺で求められる取組のアイデアを出し合いました。</p> <p>※駅周辺サロンオリジナルの手法</p>	<p>【北朝霞・朝霞台周辺で求められる取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗換：乗換時、あえて寄り道してもらえるような動線計画にする ・滞在：駅周辺に滞在空間をつくって、滞在や寄り道したくなる駅前に ・チャレンジ：市民・事業者がチャレンジできる場所を用意する ・ブランディング：にんじんをPR、ストリートに名前をつける など <p>【朝霞駅周辺で求められる取組】 ※抜粋整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーカブル：道路が狭いため、歩行者と公共交通優先のウォーカブルな交通環境とする ・複合利用：広場や様々な施設を複合的な目的・機能でつかう ・チャレンジ：情報や人や空間をマッチングしてチャレンジしやすくする 	<p>課題と将来(望ましい姿)を結び付ける「取組」のアイデアを出し合った結果、各駅ごとに特徴を捉えた具体的な取組アイデアが出てきました。</p> <p>全体構想では両駅周辺を都市拠点と位置付け、重点的に取組内容の検討を行います。この成果はその際のアイデア集として参考とします。</p>

合意形成プロセス「まちづくりサロン（全体版 全5回）」 当日の様子

暮らしサロン



高校生サロン 朝霞高校編



高校生サロン 朝霞西高校編



駅周辺サロン 北朝霞・朝霞台駅周辺



駅周辺サロン 朝霞駅周辺



暮らしサロン



高校生サロン 朝霞西高校編



高校生サロン 朝霞高校編



駅周辺サロン 北朝霞・朝霞台駅周辺



駅周辺サロン 朝霞駅周辺



まちづくりサロン「暮らし」開催報告

開催の目的

将来も住み続けたり、働く場所として通い続けるために、どんなまちづくりを目指すべきかを議論する。

開催概要

日時：6月22日（土） 10:00~12:00

開催場所：朝霞市役所 大会議室（手前）

参加者数：18人

グループワークの内容

【テーマ】

将来も朝霞に住み、通い、働く

【議論の手法】

ロールプレイ

【議論の進め方】

1 ロールプレイのキャラ割り振り

グループ内で被らないようになりながら、ロールプレイで担うキャラを決める。

2 キャラ設定カードの作成

ロールプレイのキャラになりきるため、「キャラ設定カード」にキャラの詳細を書き込む。

3 設定したキャラと、「こうなったらいいな」の共有

グループ内で、キャラ設定カードをもとに、どんなキャラであるかを説明する。そのうえで、カードの下段に記載した「本当はこうなったらいいなと思うこと」を説明する。

4 「こうなったらいいな」を実現するために

「こうなったらいいな」を実現するために、まちづくりの面でできること、改善していきたいことを考え、今後20年くらいかけてやっていくことも含めてアイデアを出し合う。

～プログラム～

時間	所要時間	内容
10:00	20分	開会挨拶、趣旨・都市マス・ワークの説明
10:20	10分	グループワーク内自己紹介
10:30	80分	グループワーク「こうなったらいいな」
11:30	60分	グループワークの発表と総評
11:50	20分	振り返り(アンケート記入・参加者の感想共有)

ロールプレイとは…

自分とは異なる年齢や立場の人になったつもりで考え、意見を述べ合う、ワークショップの手法のひとつ

～ロールプレイの役割一覧～



～キャラ設定カードのイメージ～

項目	あなたが考えた設定(なるべく詳細に)
カードに書かれた役 住んでいるところ、働いている(通っている)ところ	(例:新しく引っ越してきた30歳の夫) (例:朝霞駅徒歩5分の1LDKマンションに住み、新宿に本社がある企業に通う)
朝霞市や地域との関係(現状)	(例:マンション管理組合以外の接点はない)
仕事の内容または趣味・活動	(例)昔サッカーをやっていた、最近またやりたと思っている
困っていることや今後の心配ごと	(例)近所に友人や知り合いがいないので、災害が起きたときに心配
本当はこうなったらいいなと思うこと(生活・仕事面)	(例)通勤は週1~2回くらいであとは在宅勤務にしたい
本当はこうなったらいいなと思うこと(趣味・活動・プライベート面)	(例)サッカーを通じて地域の人と仲良くなり、地域で友人や知り合いを増やしたい

振り返りアンケートの結果

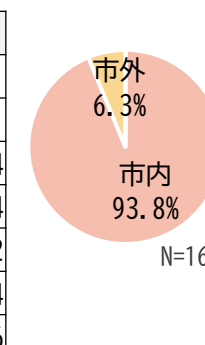
〈性別〉

性別	回答数
男性	8
女性	7
その他	1
総計	16

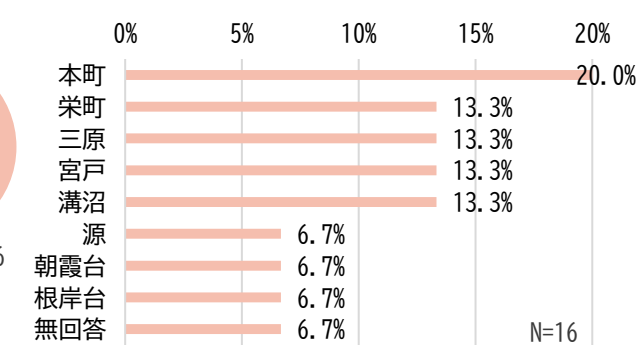
〈年齢〉

性別	回答数
10代	1
30代	1
40代	4
50代	4
60代	2
70才以上	4
総計	16

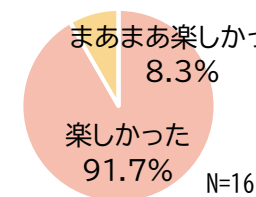
〈居住地〉



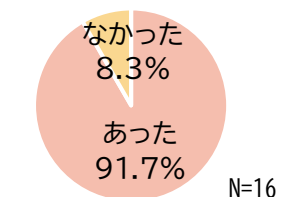
〈市内:地域名〉



〈本日は楽しめましたか〉



〈朝霞市のことを考える中で、新たな気づきや発見はありましたか〉



〈新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください〉

グループワーク

- ・色々な意見を聞いて良かった。
- ・都市マスに関して「朝霞らしいまちとは？」をテーマにした議題が良かった。

まちづくりについて

- ・ハード面より人のつながりに関する意見多いことが意外だった。
- ・場の必要性には目的が必要である。
- ・コミュニティづくりが大切だと思う。

緑に関する意見

- ・緑が少ないと皆が感じている。
- ・緑のあるまちが魅力で人が集まる結果、緑が減少するジレンマがある為、それを防ぐための制度が必要という意見に共感した。
- ・緑地保護の取組を進めたい。

〈感想〉

朝霞市に対する思い

- ・よりよい朝霞、住み続けたい朝霞になってほしい。
- ・市民の声を積み重ねてまとめてください。

考えたこと・感じたこと

- ・考えていることが近いことが多く、まとまったことを実現できると、とても良いまちができると思う。ぜひ実現していきましょう。

グループワーク

- ・幅広い世代の方と意見交換できてよかった。単なる”今欲しいもの”だけでなく、20年のスパンで議論できてよかった。
- ・もっと参加者を増やしてほしい。
- ・とても楽しかった。
- ・いろいろな方と意見を交わして、朝霞市について考える良い機会になった。



グループワークのまとめ

今回のワークショップでは、ロールプレイを取り入れ、自分とは異なる年齢や立場の人になったつもりで朝霞市の20年後が「こうなっていたらいいな」という姿、その姿を実現させるための取組アイデアについて議論しました。その結果、「多様な暮らしと世代のミックス」「身の丈に応じた商業・経済」「緑を朝霞市の魅力として活用」「挑戦ができる環境」などの20年後の暮らしの姿を共有することができました。

Aグループ

Aグループでは、まちの「活力」や「魅力」が向上するまちについて議論されました。

カードに書かれた役	11才の小学生	高校生	50才の市に働きに来ている社会人	80才 高齢者(男)
住んでいるところと、働いている(通っている)ところ	朝霞市在住	栄町	住まい：埼玉北部 働：朝霞市	市内 駅から徒歩10分
朝霞市や地域との関係(現状)	おじいちゃんが住んでいる町	市民(引越して)	仕事先	・つながりが薄い ・子、孫は独立、妻のみ
仕事の内容または趣味・活動	サッカーをやっている	自然を歩く	市役所職員	・仕事は引退 ・インドア気味
困っていることや今後の心配ごと	おじいちゃんの家まで歩道が少なく不安	大学までの学費無料	朝霞市にあまり友人がいない、知らない	・日常の足、居場所 ・相続
本当はこうなったらいいなと思うこと(生活・仕事面)	商店街がもっとあかるといいな	男女平等	休憩中、退勤後などに気軽に立ち寄る場所がほしい	・美味しいお店めぐり ・買い物しやすい
本当はこうなったらいいなと思うこと(趣味・活動・アポイント面)	サッカーの試合をおじいちゃんに見てほしい	年取ったらグループホームで生活したい	趣味を増やしたい	・運動(歩いて楽しいまち) ・活躍の場(多世代で)

「こうなったらいいな」を実現するために

- 魅力：まちの魅力向上させ、定住人口・交流人口を増やす**
 - 通勤先としても楽しめるまちになってほしい
 - まちなかに常に新しい店ができ、魅力的になってほしい
 - ・「これから引退を迎える」世代を市内に引き寄せるようにまちの魅力向上してほしい
 - ・市民のボランティア団体と連携したまちづくりの推進
 - 事業者依頼と使い分けをする
- 組織づくり：横断的な組織づくり**
 - ・ハード整備の部署とソフト施策の部署を連携してほしい
 - ・何かある際にすぐに対応できる部署があってほしい(カスタマイズみたいな総括的な連絡先)
- 組織の充実により市民に安心感をもたらす**
- 情報発信：市民との情報交換を活発に**
 - ・まちについて情報交換の場が少なく、市の発信ができていない
 - 図書館や駅など、より多くの人が集う場所にパンフレットなどの配布で情報発信
 - ・まちに対する不満があってもなかなか発信できない
 - SNSなど、まちの意見を受け付ける場がほしい
- 居場所も情報交換の場となり得る**
- 相乗効果：まちの魅力の向上はまちの活力につながる**
- にぎわい：居場所等の充実により、まちに活力をもたらす**
 - ・図書館以外に勉強する場を充実してほしい
 - 空地でコンテナボックスを利用して社会実験を実施する
 - ・市内に大規模商業施設が立地しておらず、商店街が衰退している
 - 商店街が元気になるようにしてほしい
 - ・若い人に商店街に興味を持ってほしい
 - まちのにぎわい創出の一環で、市民がチャレンジする場を用意してほしい
 - ・多世代が交流できる場がほしい
 - ・高齢者でも外出しやすいように、歩きやすいまちにしてほしい
 - ・市役所と駅が近く、都市機能が集中しているというポテンシャルを活かす

Bグループ

Bグループでは、「小さくても実現に向けた第一歩を踏み出す」ことにつながるような内容が議論がされました。

カードに書かれた役	11才の小学生	17才 高校生	3、6才の子を持つ35才の親	80才のとしより
住んでいるところと、働いている(通っている)ところ	根岸台	朝霞駅徒歩10分の戸建て	朝霞台駅から徒歩20分	宮戸・田島・根岸台
朝霞市や地域との関係(現状)	生まれ育ったまち	小・中学校の友だちがいる	地域とのつながりがない	孤立
仕事の内容または趣味・活動	サッカー	推し活	郡内、上場企業、共働き	年金暮らし
困っていることや今後の心配ごと	通学路の車が怖い	・映える場所が少ない ・友だちと集まる場所がない	・駅から少し遠い ・保育園が近くにない	行動範囲 1km圏内
本当はこうなったらいいなと思うこと(生活・仕事面)	ゆっくり車が走ってほしい	・道路がせまくて、自転車移動が大変 ・夜街灯が暗い	・大宮との直通を要し歩やして ・企業誘致 ・ペットにもいい街	仲間がいて支え合える
本当はこうなったらいいなと思うこと(趣味・活動・アポイント面)	根岸台にも広い公園がほしい	休日のお趣味も友達と遊ぶのも朝霞ですご	・キャッチコピーがない(紹介しづらい) ・人中心の駅前・近隣の市と連携	近くで憩える

「こうなったらいいな」を実現するために

- 道路・駅：より安全に使いやすい空間に**
 - ・駅のホームを広くする
 - ・歩道を広げる
 - ・人中心の居心地が良い空間にする(ペットも)
 - ・子供の送迎しやすい道路の広さにする
 - ・夜も明るい街
 - ・日陰の動線を増やす→歩きやすくなる空間
 - ・自転車が走りやすい
- 共通 移動環境の向上**
- 広場・公園：思い思いの過ごし方ができる空間に**
 - ・健康に住み続けられる環境にする
 - ・ボールが使える公園、遊び場をつくる
 - ・小さい公園でも点在させる
 - ・P-PFI(民間委託)を増やし、24時間、カフェのある公園を増やす
 - ・広い公園で(民間運営)PFIを活用する
 - ・憩いの場、公園、くつろいで歩ける道
- 買物・仕事：利便性を高める**
 - ・通勤帰りに駅で買物物を済ませたい
 - ・駅前商業施設を充実させ、朝霞で消費する
 - ・買物ができる地域商店がほしい
 - ・子育て施設の充実させ、働きやすい環境をつくる
 - ・大きい商業施設がほしい
 - ・主要施設への移動手段を充実させる
 - ・隣近接(企業誘致)にする
- モビリティ：移動しやすいまちに**
 - ・トランジットモール化する(駅前は公共交通のみ)
 - ・モビリティの選択数を増やす
- 動線をつなげてほしい**
- 空の家・空き地：活用を促す**
 - ・見守り、暮らしの応援をする
 - ・空き家、空き地の改善をする
 - ・空き家を学生の住む場所にする
- 自然・農業：資源を活かす**
 - ・自然と親しめる地域、環境にする
 - ・乱開発を抑制する
 - ・目に入ってくるくらいに緑を増やす
 - ・農業できる場所をつくる
 - ・自然や農業とふれあえる場
- 空の家・空き地の活用**
- 交流：交流できる場所を増やす**
 - ・勉強のできるスペースがほしい
 - ・映える場所がほしい
 - ・図書館がほしい
 - ・高齢者と学生のマッチング、交流機会をつくる
 - ・世代間交流の場を設ける
 - ・集客場を確保する
 - ・民間提供の憩いの場を増やす
- 小さくても実現に向けた第一歩を踏み出してみる**
 - ・やりたいことを公表して民間とマッチング
 - ・世代をこえて取り組めるもの
 - ・社会実験をまずやってみる

Cグループ

Cグループでは、特に「緑」を朝霞の魅力と捉え、緑とともにある暮らしについて議論されました。

カードに書かれた役	小学生	17才の高校生	新しく引っ越してきた30才の妻	80才の高齢者
住んでいるところと、働いている(通っている)ところ	(生まれも育ちも)市内小学校	本町(市内)となりの市の高校	宮戸在住、都内勤務	栄町
朝霞市や地域との関係(現状)	(生まれも育ちも)市内小学校	居住	町内会の回覧板などで情報を知るくらい	市民
仕事の内容または趣味・活動	友だちとあそぶ(自転車)	文化部	・事務職 ・散歩、食べ歩き	ボランティア活動
困っていることや今後の心配ごと	森に入って大丈夫?	地元の友人と疎遠になった	・市内をもっと知りたい ・知り合いが少ない	緑を残す
本当はこうなったらいいなと思うこと(生活・仕事面)	木登りや火あそびとかしてもおそれない	学校以外の刺激のある行きたくない場所	・通勤が便利だと良い ・緑があってコーヒーの飲める所ほしい	楽しく老後を
本当はこうなったらいいなと思うこと(趣味・活動・アポイント面)	冒険できる公園とか森とか	地元の友人と遊ぶ場所が朝霞にあったらいいな	市内で平日の夜や、休日楽しめる場所	草木の名前

「こうなったらいいな」を実現するために

- 環境・自然：朝霞市の魅力である「緑」を守りたい**
 - ・緑があって、コーヒーが飲める場所が欲しい
 - ・朝霞市に植生している希少種を守りたい
 - ・黒目川が20年後も美しくあってほしい
 - ・「緑」を市民で大切にしたい
 - ・豊かな緑はすぐおしゃべりであるというコンセンスを活かす
 - ・子どもが自由に遊んだり(木登りや火遊びなど)、冒険できる場所が欲しい
 - ・環境のパロメーターである湧水を残す
- 交流：祭りや植物をきっかけに人の交流が広まるという**
 - ・草木の名前が分かるものやシンボルロードの歴史が分かるものがあたらしい
 - ・(現状)シンボルロードが子供たちに草木の知識を教える場になっている
 - ・友達を呼ぶ場所が欲しい
 - ・(現状)市の運動会や市内鳴子隊で町内がつながっている
- 緑を介した交流が増えるという**
- 生活と緑があまり関係していない**
- 生活・その他**
 - ・通勤が便利になるといい
 - ・国有地に入りたい
 - ・楽しく老後を過ごしたい
 - ・駅前が歩行者専用になってほしい
- 生活を楽しめる施設が求められる**
- 施設：まちなかで多様な経験ができる場所がほしい**
 - ・多様なお店や幅広い世代が集える場所、文化的な遊びができる場所(映画館など)、友人と遊ぶ場所、学生が学校以外でも行きたくない場所がほしい
 - ・家にはないものがあり、散歩が楽しいまちにする
- 現状では相反する関係 "自然の魅力に惹かれて人が集まった結果新築の建設等によって緑が減少している"**
- 大人：地域や人との関りがある中で、新たな挑戦をしやすい環境に**
 - ・町内会を必要と思えるものにする
 - ・マンションや地域での関りをつくる(子どもがいる家庭は地域とのつながりを持ちやすい)
 - ・町内会に若い人が入ってくれるような仕組みが必要
 - ・色々なところに異なる年齢の方が集える場所があるという
 - 空き家を活用する
 - ・高齢者にも子育てをまわっていただく
 - ・トラブルがあると町内会が必要と感ずる
 - ・商店街を歩きやすく、歩道を広げる
 - ・組織立ち上げを市がサポート、宣伝してほしい
 - ・商店街に賑わいがほしい
 - 個人商店の出店をサポートできるように、空き家などを活用したチャレンジショップがあるといい
- 子ども：子どもの居場所や施設の増加**
 - ・子どもの居場所を増やす
 - ・保護者の関りが少なくなっている
 - ・プレーパークの頻度、開催数を増やす
 - ・屋内スポーツ、ダンススタジオがほしい
 - ・子どもが好きなことができる場所がほしい(規制が少ない場所)
- 地域内の交流の増加が居場所や対人関係づくりにつながる**
- 移動環境の向上**
- 高齢者：バスの利便性が高くなるという**
 - ・自動運転のバスを実施してほしい
 - ・市内バスの本数を多く、小さいバスでもこまめに走ってほしい
 - ・呼んだら来てくれるバスがほしい
- 世代をこえた交流**

Dグループ

Dグループでは、子どもと大人の「地域内のつながり」と「バスの利便性」について議論されました。

カードに書かれた役	11才の小学生	17才の高校生	新しく引っ越してきた30才の夫または妻	3才と6才の子を持つ35才の親	65才の元元高齢者	80才の高齢者
住んでいるところと、働いている(通っている)ところ	八小	朝霞市から郡内の高校へ	マンション	アパート	北原1丁目	朝霞市宮戸3丁目 一軒家
朝霞市や地域との関係(現状)		特になし	まだない	子育て最中、地域との関係性が持てない	職場が朝霞市	あまりない、となりの人と少し話す
仕事の内容または趣味・活動	パソコンゲーム	部活(ダンス)	ともかせぎ	・子育て中心の生活 ・時間見つけ家で仕事	運動が好き	・デイケアに週1で通う ・おさんぽがぼっている ・1人暮らしで不安いろいろ ・病院通い ・買い物大変
困っていることや今後の心配ごと	学校、友だちがうざい	地元遊ぶ場所がない	子どものしつけ(時代に応じた対応、近所付き合い、近隣のコミュニケーション)	・近所の方との接点をもう少し持ちたい	坂が多い	家の近くまで市のバスが走ってほしい
本当はこうなったらいいなと思うこと(生活・仕事面)		遅い時間までバスがあれば安心して帰宅できる	・少子化 ・まずは親からのコミュニケーション	・同じ世代の親との交流 ・子育てに親としての相談 ・話せる場所	楽に通動したい	歩いていけるところにいつでもいける市の良いスペースほしい
本当はこうなったらいいなと思うこと(趣味・活動・アポイント面)	好きな事をいっぱいやりたい	友達どうしのコミュニケーション	近隣どうしのコミュニケーション	思いやりが落ちた街	地域の人との関わりを持ちたい	

「こうなったらいいな」を実現するために

- 子ども：子どもの居場所や施設の増加**
 - ・子どもの居場所を増やす
 - ・保護者の関りが少なくなっている
 - ・プレーパークの頻度、開催数を増やす
 - ・屋内スポーツ、ダンススタジオがほしい
 - ・子どもが好きなことができる場所がほしい(規制が少ない場所)
- 大人：地域や人との関りがある中で、新たな挑戦をしやすい環境に**
 - ・町内会を必要と思えるものにする
 - ・マンションや地域での関りをつくる(子どもがいる家庭は地域とのつながりを持ちやすい)
 - ・町内会に若い人が入ってくれるような仕組みが必要
 - ・色々なところに異なる年齢の方が集える場所があるという
 - 空き家を活用する
 - ・高齢者にも子育てをまわっていただく
 - ・トラブルがあると町内会が必要と感ずる
 - ・商店街を歩きやすく、歩道を広げる
 - ・組織立ち上げを市がサポート、宣伝してほしい
 - ・商店街に賑わいがほしい
 - 個人商店の出店をサポートできるように、空き家などを活用したチャレンジショップがあるといい
- 地域内の交流の増加が居場所や対人関係づくりにつながる**
- 移動環境の向上**
- 高齢者：バスの利便性が高くなるという**
 - ・自動運転のバスを実施してほしい
 - ・市内バスの本数を多く、小さいバスでもこまめに走ってほしい
 - ・呼んだら来てくれるバスがほしい
- 世代をこえた交流**

まちづくりサロン「高校生（朝霞高校）」開催報告

開催の目的

参加者である高校生が大人になったとき、どんなまちでどんな暮らしをしていることが理想かを話し合ってもらい、理想とする暮らしができるまちがどんなまちなのかを考えてもらう。

開催概要

日時：7月4日（木）13:30～15:30

開催場所：朝霞高校

参加者数：12人

～プログラム～

時間	所要時間	内容
13:30	20分	開会挨拶、趣旨・都市マス・ワークの説明
13:50	7分	グループワーク内自己紹介
13:57	68分	グループワーク
15:05	18分	グループワークの発表と総評
15:23	7分	振り返り(アンケート記入・参加者の感想共有)

グループワークの内容

【テーマ】

未来の私とまちの姿

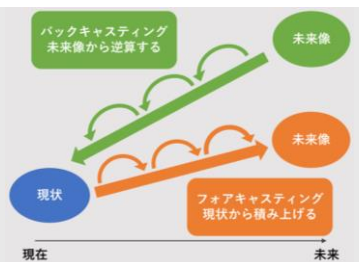
【議論の手法】

フォアキャスト、バックキャスト

フォアキャスト、バックキャストとは…

●フォアキャスト：現在を起点として未来を予測する方法

●バックキャスト：あるべき（ありたい）未来を描き、そこから逆算して現在おこなうべき行動を決定する方法



【議論の進め方】

1 フォアキャストの15年後

自分と朝霞市について「フォアキャストカード」に15年後のことを予測して書き、グループ内で共有する。

2 バックキャストの15年後

「こうなっていたい」という希望の未来を考え、「バックキャストカード」に思い描いた理想の暮らしを書き、グループ内で共有する。

3 フォキャストとバックキャストの比較

フォキャストとバックキャストを比較し、2つの違いをグループワーク内で共有する。

4 バックキャストの未来に共通するまちの姿

まず、バックキャストで描いた未来をグループのなかで見比べて、何人かに共通しているキーワードを探し出し、模造紙に書く。

次に、書き出したキーワードが実現しているまちとはどんなまちなのかを話し合い、模造紙上に

「私たちの理想のまちは○○○○○○○○○○なまち」

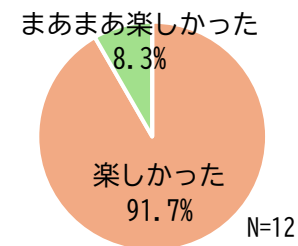
など、理想のまちの姿を言語化またはイラスト等で表現する。

振り返りアンケートの結果

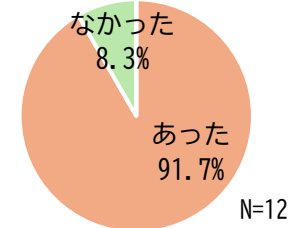
〈性別〉

性別	回答数
男性	2
女性	10
総計	12

〈本日は楽しめましたか〉



〈朝霞市のことを考える中で、新たな気づきや発見はありましたか〉



〈新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください〉

- 朝霞市に対する思い**
 - このまちに住み続けることを考え、更によりよいまちにしたい。
 - 改善点が少なく、とても良い市だと思った。
- まちに対する考え方**
 - まちは自分がいたかったらいいし、いたくなかったら別のまちに行くものだと思っていたけれど、まちと向き合って、まちは変えていくものだ気づいた。

意見交換

- 何人かで話し合うことで新しいことを知れた。だめなところから良いところまで深く知れた。
- いい所と悪い所がたくさんあるんだなと思った。伸び代たくさんあると思った。

〈感想〉

- グループワーク**
 - フォア/バックキャストで考えることで、自分が考える未来と、なりたい未来でどう変わるのかを知れた。
 - 同じ考えと異なる考えを照らし合わせて、模造紙にまとめるのが面白かった。
- 都市マスタープランに対する理解**
 - 中学校の社会の授業で都市計画マスタープランについて考えた時は具体性がなく分からなかったけれど、今回は基礎的な部分を考えられ、都市計画マスタープランに対する理解度が高まった。

考えたこと・思ったこと

- 市外の人の意見を聞いたり、朝霞市について話し合うことで、今まで以上に朝霞市について知ることができたとともに、朝霞市について深く考えることで、朝霞市が将来どうあってほしいか、自分なりの考えをもつことができた。
- 朝霞市の改善点や目指すまちかどのようなものなのか、はっきりと分かった。このサロンで学んだことを覚えて、自分もまちをより良くするために行動したい。



グループワークのまとめ

今回のワークショップでは、フォアキャストとバックキャストという2つの将来像の比較やバックキャストで描いた将来の共通項を見つけ、これから大人になる高校生の立場で将来の朝霞市のまちづくりについて議論しました。その結果、「自分・家族」や「ゆとり、時間」「豊かさ」「QOL」といった価値観を大切にしたい15年後の暮らしの姿を共有することができました。

Aグループ

(6人)

私たちの理想のまちは…

「・自然と人とともに生き続けるまち

・幸せ溢れる多様なまち

・進化するまち

」



Aグループは、主に、「QOL=Quality of life(生活の質)」を向上させるにはどのようなまちが理想なのかという視点で議論しました。

Bグループ

(6人)

私たちの理想のまちは…

「安心して暮らせる幸せなまち」



Bグループは、「幸せに暮らす」ためにはどのような住まいや時間の使い方が理想なのかを議論したうえで、どのようなまちがそれを実現させるのに理想なまちなのかを議論しました。

バックキャストで描いた将来に共通していたこと

【人間関係】

- ・自分を大切にする
- ・人を大切にする
- ・人との関りを大切にする
- ・家族、友人・子供など人との関わりを大切にする

【自己愛】

- ・充実した休日を過ごす
- ・将来の夢がある
- ・好きな学問がそのままなりたい職業につながっている

【QOL】

- ・自分の時間も大切にする
- ・家庭での生活も充実させる
- ・QOLを上げて生活をする
- ・休日に自分の好きな事や、やりたい事をする
- ・旅行をする
- ・何かしらの仕事に就く

【公共設備】

- ・交通網が良くなる
- ・道の整備が進む
- ・公共施設の整備が進む(公園、子どもの遊び場など)

【自然】

- ・自然を大切にする

【その他】

- ・朝霞市に住み続ける
- ・ペットを飼っている

バックキャストで描いた将来に共通していたこと

【時間】

- ・家族や友人と一緒に過ごす
- ・自分の時間をもつ
- ・家でんびり過ごす

【家族構成】

- ・結婚している
- ・子どもがいる

【住まい】

- ・通勤に便利なところに住む
- ・他県に移住するが、たまに朝霞に帰る
- ・スローライフをおくる
- ・安心して通れるまちに住む
- ・買い物が楽しめるまちに住む
- ・ゴミのないまちに住む

【その他】

- ・やりがいをもって仕事をする
- ・自然を感じながら生活をする

■フォアキャストカードの記入例

住んでいる場所やすまい	志本市
自分の仕事	学校の教師
家族構成	結婚して、自分・夫・子供
15年後の日常の様子	仕事→フリータイム→やる
15年後の休日の過ごし方	買い物、旅行
朝霞市との関わり(あれば)	
現在のまちと15年後のまちの違い	あそび場が増えていい

住んでいる場所やすまい	志本市から近い一軒家
自分の仕事	布衣所職員
家族構成	夫、子供
15年後の日常の様子	結婚している。
15年後の休日の過ごし方	家族とどっか行く。
朝霞市との関わり(あれば)	高校の友達と会ったりする。
現在のまちと15年後のまちの違い	火曜日が消える。

■バックキャストカードの記入例

住んでいる場所やすまい	歴史、読書
自分の仕事	一人の時間を大切にしたい
家族構成	自分、ペット
15年後の日常の様子	朝霞市との関わり
15年後の休日の過ごし方	旅行は毎年行きたい
朝霞市との関わり(あれば)	朝霞市に帰って来た時に朝霞とつながる
現在のまちと15年後のまちの違い	道の整備がもっといい。

住んでいる場所やすまい	公務員、哲学、読書、英語
自分の仕事	向上心
家族構成	4人家族
15年後の日常の様子	朝霞市との関わり
15年後の休日の過ごし方	自然を感じながら生活する。
朝霞市との関わり(あれば)	朝霞市との関わり
現在のまちと15年後のまちの違い	自然がもっと感じられる。

まちづくりサロン「高校生（朝霞西高校）」開催報告

開催の目的

参加者である高校生が大人になったとき、どんなまちでどんな暮らしをしていることが理想かを話し合ってもらい、理想とする暮らしができるまちがどんなまちなのかを考えてもらう。

開催概要

日時：7月17日（木）13:30～15:30

開催場所：朝霞西高校

参加者数：30人

～プログラム～

時間	所要時間	内容
13:30	20分	開会挨拶、趣旨・都市マス・ワークの説明
13:50	7分	グループワーク内自己紹介
13:57	68分	グループワーク
15:05	18分	グループワークの発表と総評
15:23	7分	振り返り(アンケート記入・参加者の感想共有)

グループワークの内容

【テーマ】

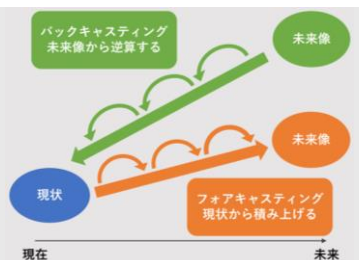
未来の私とまちの姿

【議論の手法】

フォアキャスト、バックキャスト

フォアキャスト、バックキャストとは…

- フォアキャスト：現在を起点として未来を予測する方法
- バックキャスト：あるべき（ありたい）未来を描き、そこから逆算して現在おこなうべき行動を決定する方法



【議論の進め方】

1 フォアキャストの15年後

自分と朝霞市について「フォアキャストカード」に15年後のことを予測して書き、グループ内で共有する。

2 バックキャストの15年後

「こうなっていたい」という希望の未来を考え、「バックキャストカード」に思い描いた理想の暮らしを書き、グループ内で共有する。

3 フォキャストとバックキャストの比較

フォキャストとバックキャストを比較し、2つの違いをグループワーク内で共有する。

4 バックキャストの未来に共通するまちの姿

まず、バックキャストで描いた未来をグループのなかで見比べて、何人かに共通しているキーワードを探し出し、模造紙に書く。

次に、書き出したキーワードが実現しているまちとはどんなまちなのかを話し合い、模造紙上に

「私たちの理想のまちは○○○○○○○○○○なまち」

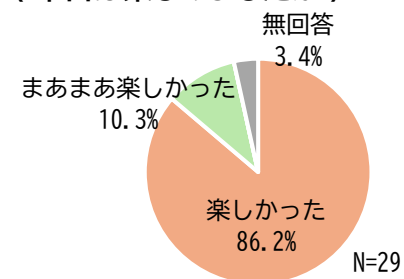
など、理想のまちの姿を言語化またはイラスト等で表現する。

振り返りアンケートの結果

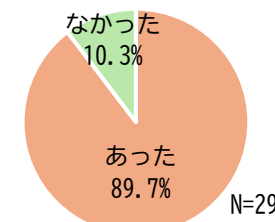
〈性別〉

性別	回答数
男性	9
女性	20
総計	29

〈本日は楽しめましたか〉



〈朝霞市のことを考える中で、新たな気づきや発見はありましたか〉



〈新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください〉

朝霞市

- ・すでに色々進んでいるまちだけど、更に新しいことに挑戦する動きがみられた。
- ・まちづくりに対して積極的である。

まちに対する考え方

- ・すべてのジャンルと世代において、安心して暮らせるまちが望まれている。
- ・自然とまちが共存している。

グループワーク

- ・今の朝霞市の状況から、未来はこうなってそうだと、こうなってほしいということを考えられ、まちが発展するためには色々な視野が必要だと思った。
- ・フォアキャスト、バックキャストの考え方が大切だということに気づかされた。
- ・朝霞市が今どんな状態なのかを考え、人との関わる大切さや楽しさに気づいた。

〈感想〉

まちづくり

- ・1つのまちを運営するのにも考えなくてはならない要素が多く、まちの運営は大変だと改めて感じた。このあたたかいまちが、この先も続いていけるよう頑張りたい。
- ・今回出た意見が、これからのまちづくりに活かされたら嬉しい。

グループワーク

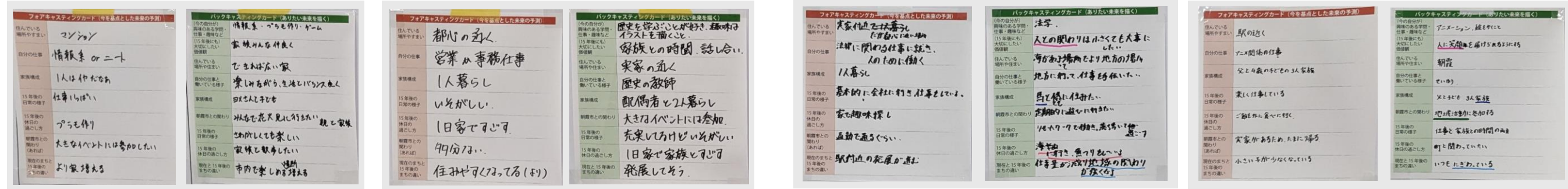
- ・本題のまちをつくる考えを話し合う事も楽しかったけれど、まずみんなで話し合う事自体が新鮮で楽しかった。この体験を活かして、これからどんどん参加していきたい。
- ・新しい意見が出たり、考えられない部分も気づけたのでよかった。
- ・それぞれ思い描く将来像は違うけれど、思い描く市の印象は似たようなもので、面白いと思った。自分では考えられなかった視点も、グループワークを通して見る事ができてよかった。



グループワークのまとめ

今回のワークショップでは、フォアキャストとバックキャストという2つの将来像の比較やバックキャストで描いた将来の共通項を見つけ、これから大人になる高校生の立場で将来の朝霞市のまちづくりについて議論しました。その結果、「自分・家族」や「やさしさ」「つながり・人間関係」「ロマンチック」といった理想のまちのキーワードを導き出しました。

【フォアキャストカードとバックキャストカードの記入例】



Aグループ

(5人)

私たちの理想のまちは…
「いのちが宿り、満たされるまち」



Aグループは、主に、「自分のことを大切にする」ためにはどのようなまちが理想なのかという視点で議論しました。

Bグループ

(5人)

私たちの理想のまちは…
「自然にやさしいはたらきやすく
住みやすいまち」



Bグループは、仕事や家族と過ごす「時間」を充実させるためにはどのようなまちが理想なのかという視点で議論しました。

----- バックキャストで描いた将来に共通していたこと -----

【自分のこと】

- ・自分を大切にする
- ・自分に優しくする
- ・休日は自分の好きなことをする
- ・趣味の時間をしっかりつくる

【緑と共存】

- ・ビルが多いけど緑と共存している
- ・緑があると、景観が良くなる

【暮らし】

- ・時間に余裕のある暮らしをする
- ・関東に住む
- ・経済的に豊かな暮らしをする

【その他】

- ・動物と暮らす
- ・生活の中で駅を利用する

【住まい】

- ・関東都心に住む
- ・実家暮らしをする

【生活】

- ・趣味の時間を大切にする
- ・楽しんで仕事をする
- ・独身生活を送る
- ・ペットを飼う

【まちの姿】

- ・子供が増える
- ・学校は減らない
- ・緑がたくさんあるまちになる
- ・環境にやさしいまちになる
- ・自然があるまちになる
- ・環境保全が進んでいる
- ・働きやすいまちになる
- ・大気がきれいなまちになる

Cグループ

(5人)

私たちの理想のまちは…

「発展している豊かなまち」



Cグループは、主に、「誰かと一緒に過ごす時間」を充実させるためにはどのようなまちが理想なのかという視点で議論しました。

バックキャストで描いた将来に共通していたこと

【まちの姿】

- ・緑が少なくなる
- ・住宅地が増える
- ・美術館ができる
- ・豊かなまちになる
- ・動物の増加する
- ・昼間人口が増える

【プライベート】

- ・家族と過ごす
- ・ゆっくり過ごす
- ・趣味を楽しむ
- ・都心に住む
- ・彩夏祭の他にも市民が参加する行事が増える

【仕事】

- ・充実している
- ・多忙なワークライフをおくる

Eグループ

(5人)

私たちの理想のまちは…

「好きなことで地域とつながるまち
・伝統を通して人と関われるまち」



Eグループは、「地域活動」が「人との関り」「活気のある生活」「趣味を楽しむこと」につながることで理想のまちになるのではないかという議論をしました。

バックキャストで描いた将来に共通していたこと

【人との関り】

- ・友人、家族と過ごす
- ・人と関わりをもつ
- ・人を笑顔にする

【趣味】

- ・趣味を楽しむ(魚釣りなど)

【家族やペット】

- ・ペットを飼う
- ・家族と暮らす

【地域活動】

- ・ボランティアに参加する
- ・お祭りに参加する
- ・地域活動に参加する

【まちの姿】

- ・賑やかになっている
- ・地域の関わりが強くなる
- ・活気に溢れている

Dグループ

(5人)

私たちの理想のまちは…

「ロマンチックなまち」



Dグループは、「家族をつくる」「家族と楽しく過ごす」ことができるように、どのようなまちができればよいかを議論しました。

バックキャストで描いた将来に共通していたこと

【まちの姿】

- ・交通の便がいい
- ・住みやすい
- ・道が広い
- ・出会いがたくさんある
- ・楽しく過ごせる

【自然】

- ・自然のきれいな公園がある
- ・お花の溢れるまち
- ・道路沿いに花壇がある

【施設】

- ・子どもが遊べる所がたくさんある(児童館等)
- ・素敵なカフェがある

【その他】

- ・結婚している

Fグループ

(5人)

私たちの理想のまちは…

「個々の人生とつながりを尊重した、持続可能で住みやすいまちづくり」



Fグループは、「自分の時間や人とのつながり」を大事にしつつ、「持続可能で住みやすいまち」を実現させるためにはどうしたらよいかを議論しました。

バックキャストで描いた将来に共通していたこと

【つながり】

- ・母校に遊びに行く
- ・妻子をもつ
- ・人と関わる

【個々の人生を尊重】

- ・ペットと過ごす
- ・在宅ワークをする
- ・1人の時間をもつ

【自然】

- ・自然が多く、緑が豊か
- ・人にも自然にも細かな配慮がある

【住みやすさ】

- ・利便性が高まる
- ・完全自動運転の開始や交通網が発達し交通機関が充実する

まちづくりサロン「駅周辺（朝霞台・北朝霞駅）」開催報告

開催の目的

将来の北朝霞・朝霞台駅周辺がどんなまちになってほしいか、そのためにどんな取組をすればよいか、について議論する。

開催概要

日時：7月11日（木）18:00～20:00
 開催場所：産業文化センター
 参加者数：18人

～プログラム～

時間	所要時間	内容
18:00	20分	開会挨拶、趣旨・都市マス・ワークの説明
18:20	7分	グループワーク内自己紹介
18:27	73分	グループワーク
19:40	10分	グループワークの発表と総評
19:50	10分	振り返り(アンケート記入・参加者の感想共有)

グループワークの内容

【テーマ】

将来の北朝霞・朝霞台駅周辺がこうなったらいいな！

【議論の手法】

ロジックブリッジ

【議論の進め方】

ロジックブリッジとは…

取り組み内容をグループで考えることで、ゲーム性を持たせて楽しみながら議論する手法。(オリジナルの手法)「課題」に対してどんな「取組」をしたら「将来」の姿になるか、一連のロジック(論理)が成り立つようにして議論を進める。

1 チーム分け

グループ内で、課題チームと将来チームに均等に分かれる。

2 課題・将来を挙げる

課題と将来を挙げる作業を行う。

○課題チーム:駅周辺で考えられる課題をできるだけたくさん挙げて、ふせんに書き、「課題ゾーン」に貼っていく。

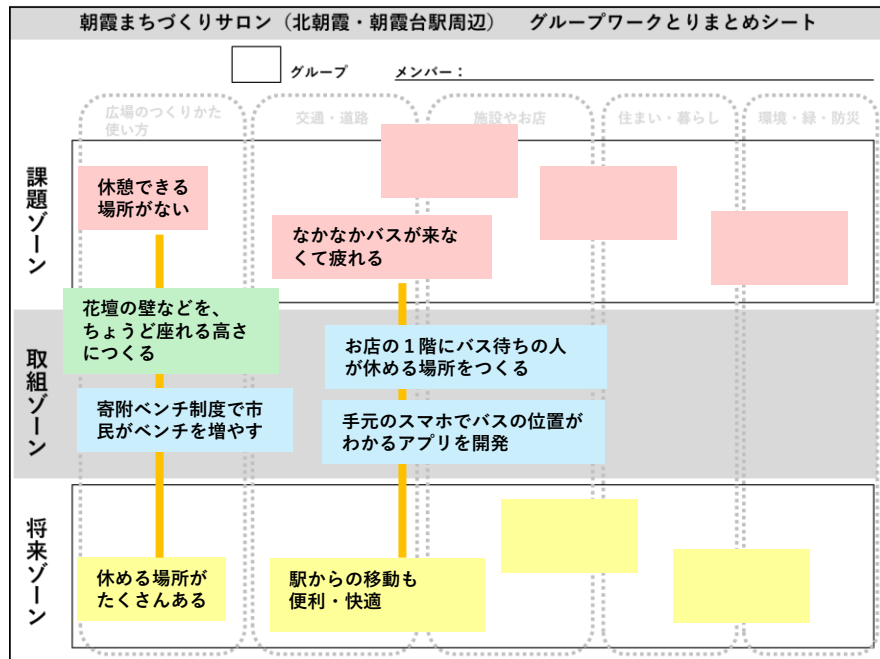
○将来チーム:こうなったらいいなと思う「将来の姿・状態」をふせんに書き、「将来ゾーン」に貼っていく。

3 取り組み内容を考える

(例示)

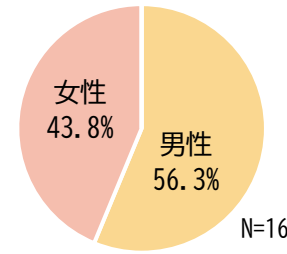
課題ゾーンと将来ゾーンを照らし合わせ、「課題」と「将来」を結び付ける「取組」をグループ内で考える。
 取組を考えることで、課題と将来を橋渡し(ブリッジ)する一連のロジックが完成する。

(凡例)

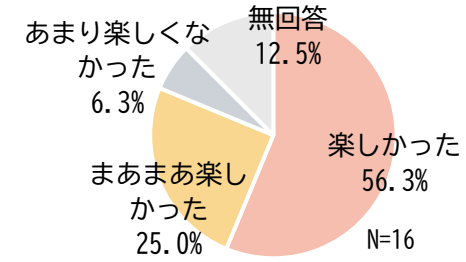


振り返りアンケートの結果

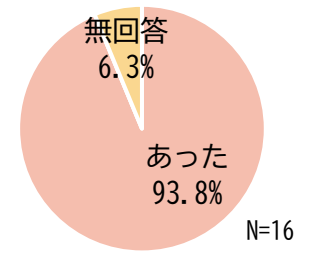
〈性別〉



〈本日は楽しめましたか〉



〈朝霞市のことを考える中で、新たな気づきや発見はありましたか〉



〈新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください〉

意見交換

- ・いろいろな考え方が知れて良かった。
- ・答えが出ない交流があったのでよかった。
- ・物事を考える点でいろいろな見方があることを改めて気づいた。

その他

- ・いろいろな方々とまちづくりを考える機会ができて、まちの見方が広がった。
- ・民間と行政の距離が近いと感じた。

〈感想〉

プログラム

- ・振り返りで、司会者から各チームの要点の説明があったのが分かりやすかった。
- ・楽しかった。
- ・ロジックブリッジでのチーム分けだったが、課題と将来両方の意見を述べたかった。

その他

- ・市民として、良いまちがみんなで作れるといいと思う。
- ・朝霞らしいまちをつかっていきたい想いが感じられた。
- ・行政と市民の協力が具体的にみえてきた。

意見交換

- ・多世代の市民が楽しめるまちづくりについての意見を出し合うのは、とても良いと思った。
- ・多くの市民の方のそれぞれの思いを知ることができた。
- ・まわりに朝霞台を語る事がないので、新鮮な気持ちで議論できた。
- ・3チームそれぞれ特色があり、面白かった。



グループワークのまとめ

今回のワークショップでは、「課題」に対してどんな「取組」をしたら理想の「将来」の姿になるかを考え、民間で行う取組と行政で行う取組のアイデアを議論しました。その結果、「動線」「滞在」「チャレンジ」「ブランディング」といったキーワードに関する取り組みが挙げられました。

(凡例)



Aグループ

	交通	暮らし	環境	広場	その他 (朝霞らしさ)
課題	<ul style="list-style-type: none"> 道路が狭い 歩道がなく、段差が多い 自転車やバイクの駐輪場が少ない ダイチャリのステーションが少ない 駅周辺に無機質感があり、魅力がない 	<ul style="list-style-type: none"> 小学生や大学生が遊べる場所がない ちょっとした勉強や仕事をする場所がない Wi-Fiが使える場所がない チェーン店ばかりで、個性的な店がない 	<ul style="list-style-type: none"> たばこのポイ捨てが多い ごみを捨てる場所がない 公園が少ない 花壇の花が枯れていることが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくり休めるスペースがない くつろぐ緑がない ベンチが少ない まちの景色が変わらない 	<ul style="list-style-type: none"> 朝霞の特色が人参しかない 文化的な施設が少ない
取組	<ul style="list-style-type: none"> 歩道を整備する 無電柱化を促進する 民間が整備する駐輪場の使用にあたって、補助割引制度を設ける 駐輪場を整備する ダイチャリのステーションを増やす 駅周辺に個性的な店舗をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> コワーキングスペースを公共施設として提供する Wi-Fiを設置する 公共用地でキッチンカーなどを誘致する 少し休んだり、勉強できる場所を提供する 子どものスペースをつくる 若い人に安い店舗を貸し出す 	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙スペースを決める ごみ箱を設置する 公園を整備する 花壇を整備する 公園のP-PFIで民間活用を促進する ごみ拾いボランティア活動を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 広告付きのファニチャーを設置する ベンチを設置する 公共空間でP-PFIを推進する 民地の広場を公共化していく (税制優遇) ベンチを寄付する グリーンガーデンをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 人参プロジェクトを立ち上げる (ベンチの設置や寄付も人参プロジェクトの一環) 人参畑に補助券制度を設ける 屋上を農園として活用する 人参プロジェクトに携わる 人参で特産物をつくる 文化的な施設を誘致する
将来	<ul style="list-style-type: none"> ベビーカーのままで、どこへでも行ける 交通手段の選択肢が多くなる 楽しく、ウォーカブルな駅前になる 	<ul style="list-style-type: none"> 学生の居場所ができる お金をかけなくても過ごせる場所ができる 空き家・空き店舗を有効に活用される 駅前に気軽に立ち寄りたくなる店や空間がある 	<ul style="list-style-type: none"> まちが清潔になる 自然が豊かになる 	<ul style="list-style-type: none"> 市民が使いやすい場所ができる くつろげる場所ができる ぼーっとできる場所ができる 利用形態が変わる空間がある 	<ul style="list-style-type: none"> 「朝霞らしさ」がある 地域ブランディングが進められている 朝霞の歴史を学べる場所ができる

Bグループ

	交通	道路	環境	広場	施設
課題	<ul style="list-style-type: none"> 電車の乗り継ぎ動線が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者と自転車の通る道が混在していて危ない 道路に段差があり、ベビーカーが通りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 公衆トイレが汚い ゴミ箱が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 雰囲気が暗い 狭い 駅周辺の魅力が足りない 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模の商業施設がない
取組	<ul style="list-style-type: none"> 目的地別で動線が分かれる仕組みをつくる エスカレーターを上下別に左右に分配する 	<ul style="list-style-type: none"> 道路の段差をなくす等の整備をする (ユニバーサルデザインの道づくりの促進) 人と自転車を通る道を分離させる 運転者はスピードを落とす 	<ul style="list-style-type: none"> ネーミングライツを導入する 超分別ごみ箱 (細かく分別をするゴミ箱) を設置する ゴミを捨てないような環境づくりをする ネーミングライツに志願する ゴミ拾いをする 	<ul style="list-style-type: none"> 舗装を明るくする 一部を芝生にする 広くする 街灯を設置する 植栽を植える 日陰にベンチを設置する 花壇を設置する 	<ul style="list-style-type: none"> お店を出しやすい環境づくりをする チャレンジショップ事業の基盤を整える 個人の店を出店する
将来	<ul style="list-style-type: none"> 人の動線が交わらなくなっている 移動がスムーズにできる 	<ul style="list-style-type: none"> 横断歩道を小さい子供や高齢者が安心して、安全に渡れるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミが落ちていないまちになる 駅周辺をきれいに保つ活動が行われている 	<ul style="list-style-type: none"> シンボルになるような大きな木がある ベンチに座ってゆっくりできる 夏は涼しく、冬は暖かい場所になる 人が集まれる場所になる 夜になっても安心して歩けるまちになっている 	<ul style="list-style-type: none"> 若者向けのお店できる 多様なお店できる ゆっくりランチができるお店できる 色々なお店がある

Cグループ

	交通・道路	暮らし	環境	広場	施設
課題	<ul style="list-style-type: none"> バスやタクシー、送迎者が混在している 人と車が混在している 歩行者通行帯が確保できていない 歩道に障害物や自転車がある 段差が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設が近くにない 町内会が形骸化している 子育てや福祉施設の充実が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 緑が少ない 新河岸川沿いにベンチが少ない 1人暮らしのお年寄りにとって防災や防犯に不安を感じている 	<ul style="list-style-type: none"> 騒然、殺伐としている ベンチが少ない 待ち合わせ場所が少ない 駅に3つ広場があるが使いづらい 	<ul style="list-style-type: none"> チェーン店が多い 地元の商店が衰退しており、育たない 看板が多すぎる 買い物をしたい場所が少ない
取組	<ul style="list-style-type: none"> 駅前の交通が円滑に処理できる交通広場を整備する 一方通行にする 歩行者の動線を確保する 無電柱化 ブリッジをつくり、鉄道を横断、回遊できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 文化的な取組ができる場所 坂が魅力的に感じような取組を行う 無電柱化を行う 道路を美化化する 浄水場を利用できるようにする ごみを捨てられないような動線をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前に広い広場をつくり、人が集まれるようにする 魅力的な照明で明るく 防犯・防災対策を充実する 植栽で木陰をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> モニュメントを設置する 公共交通に必要な空間は確保しつつ、歩行者が通行・滞留できる場所を確保する 緑を増やす 段差を解消する (バリアフリー) 集合場所として利用する キッチンカーを出店する 	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジできる場所をつくる 駅から離れた場所に魅力的な施設を設け、施設までの道をバリアフリーかつ魅力的な設えに 起業支援の充実 学生と地元のお店がコラボした企画を実施する 駅と施設を結ぶ道を魅力的にする
将来	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが自由に移動できる空間が確保されているまちになる 送迎がスムーズになる 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事を終えた人が楽しめるまち きれいなまち 静かで心が落ち着く場所がある 様々な情報が入手できる 	<ul style="list-style-type: none"> 涼しいまちになる 犯罪や災害にびくびくしない、安心・安全なまち 	<ul style="list-style-type: none"> 人が集まる空間ができる 待ち合わせできる場所ができる イベントができるスペースできる (なるこ踊りなど) 明るい空間になる 防災にも寄与する広場がある 	<ul style="list-style-type: none"> 小さな個人のお店が増える 駅と周辺施設を結ぶ道を魅力的で歩きたくなる道に テレビに出るような素敵な駅前に

まちづくりサロン「駅周辺（朝霞駅）」開催報告

開催の目的

将来の北朝霞・朝霞台駅周辺がどんなまちになってほしいか、そのためにどんな取組をすればよいか、について議論する。

開催概要

日時：7月18日（木）18:00～20:00
 開催場所：産業文化センター
 参加者数：12人

～プログラム～

時間	所要時間	内容
18:00	20分	開会挨拶、趣旨・都市マス・ワークの説明
18:20	7分	グループワーク内自己紹介
18:27	73分	グループワーク
19:40	10分	グループワークの発表と総評
19:50	10分	振り返り(アンケート記入・参加者の感想共有)

グループワークの内容

【テーマ】

将来の朝霞駅周辺がこうになったらいいな！

【議論の手法】

ロジックブリッジ

【議論の進め方】

1 チーム分け

グループ内で、課題チームと将来チームに均等に分かれる。

2 課題・将来を挙げる

課題と将来を挙げる作業を行う。

○課題チーム：駅周辺で考えられる課題をできるだけたくさん挙げて、ふせんに書き、「課題ゾーン」に貼っていく。

○将来チーム：こうなったらいいなと思う「将来の姿・状態」をふせんに書き、「将来ゾーン」に貼っていく。

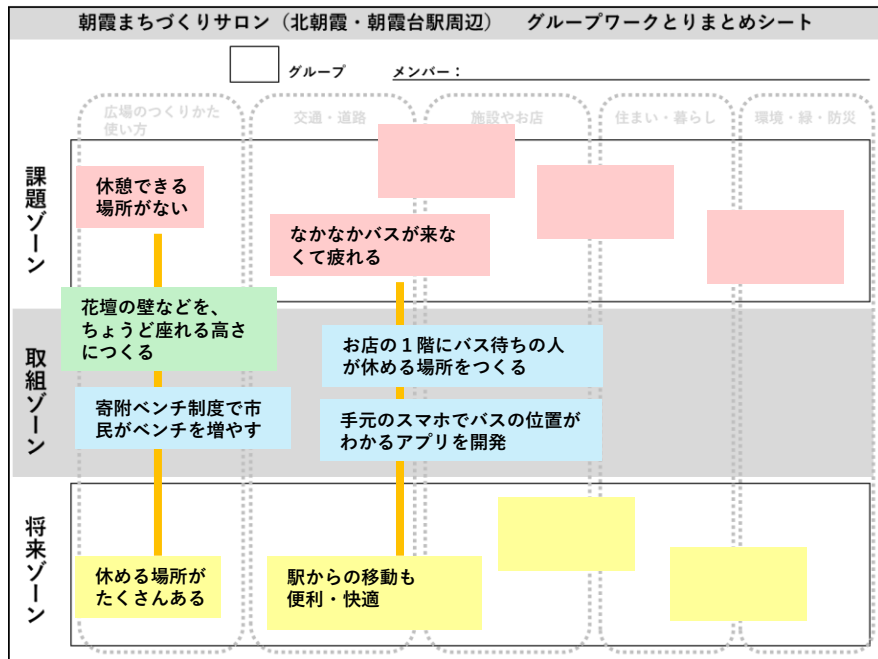
3 取り組み内容を考える

(例示)

課題ゾーンと将来ゾーンを照らし合わせ、「課題」と「将来」を結び付ける「取組」をグループ内で考える。

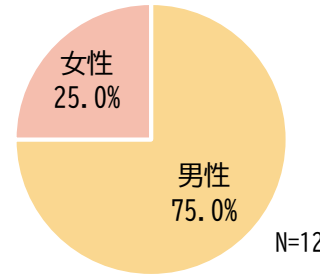
取組を考えることで、課題と将来を橋渡し(ブリッジ)する一連のロジックが完成する。

(凡例)

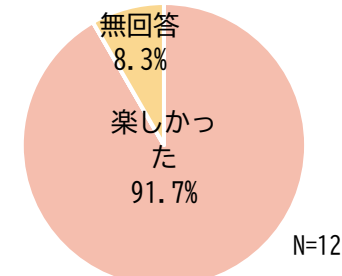


振り返りアンケートの結果

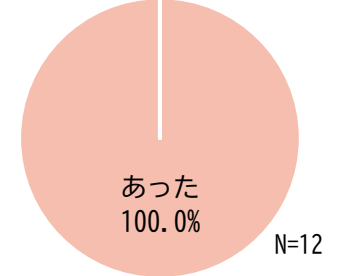
〈性別〉



〈本日は楽しめましたか〉



〈朝霞市のことを考える中で、新たな気づきや発見はありましたか〉



〈新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください〉

意見交換

- ・積極的に意見交換できたのが楽しかった。
- ・昔から住んでる人と新しく住んでる人など、環境や世代で意見が違う。
- ・色々な意見を聞いて良かった。
- ・賑わいや人の交流にマッチングを利用するというアイデアが新鮮だった。

朝霞市

- ・朝霞の商店街や、昭和的なお店、畑や自然がある所が好きになり、大切にしたいと思った。
- ・個人商店が少ないと感じている人が多い。

〈感想〉

まちづくり

- ・市も民間も、できることからスピード感を持って変わってほしい。
- ・多くの方が道路の狭さを議題に感じていることが分かり、今後の対策に期待したい。
- ・朝霞の取組を知ることができたのが良かった。
- ・議論と市の施策へのつながりの見える化してほしい。
- ・みんながより住みよい朝霞にしたいと思っていることが分かった。

意見交換

- ・2回目参加し、各回で違う意見を知ることができて面白かった。
- ・話がとぎれることなく、活発に意見を交わせた。
- ・参加者の方々と朝霞のまちづくり課題を共有できて良かった。
- ・同じ意識をもった人達と意見を交わすことができ、新たなつながりができたのも良かった。

プログラム

- ・WSの枠組みや班ごとのファシリテーションがスムーズで議論しやすかった。
- ・まちの核になる駅前に限定し、議論、意見交換できたのが良かった。



グループワークのまとめ

今回のワークショップでは、「課題」に対してどんな「取組」をしたら理想の「将来」の姿になるかを考え、民間で行う取組と行政で行う取組のアイデアを議論しました。その結果、「ウォーカブル」「複合利用」「チャレンジ」といったキーワードに関する取り組みが挙げられました。

(凡例)

